




「あおもり産学官金連携イノベーションアワード 2022」の受賞者

1. アワードの概要

- ・先導的で優良な産学官金連携事例の表彰制度
- ・平成 28 年度に開始し、今回で 7 回目
- ・ 7 件の応募の中から、審査委員会が候補を選定
 ※ 委員長：野長瀬裕二（JST 産学官連携ジャーナル 編集委員会委員長）

2. 受賞者 ※特別賞は令和 5 年度から「チャレンジ賞」に名称変更

<p>【イノベーション 優秀賞】</p> <p>取組の成果（優れた技術・製品・サービス）が本県の新産業・新事業創出や地域活性化に貢献しているものと認められるもの。</p>	<p>有限会社カワサキ機工（おいらせ町） <フルフラット横型ベンダーの高機能化></p> <p>棒状の金属をフルフラット（平面上）で多種多様に曲げ加工することが可能で、操作性が非常に高い加工機械を製品化。全国から引き合いがあり、売上も順調に推移。</p> <p>(連携機関) ・(株)八戸インテリジェントプラザ ・(地独)青森県産業技術センター 外</p>  <p>フルフラット横型ベンダー</p>
<p>【イノベーション 特別賞】</p> <p>取組の成果（優れた技術・製品・サービス）が本県の新産業・新事業創出や地域活性化に今後、期待されるもの。</p>	<p>株式会社サンライズエンジニアリング（五戸町） <キャンプ用品自社ブランド「Phoenixrise（フェニックスライズ）」の製造・販売></p> <p>高い板金技術を活かしたキャンプ用品を開発するとともに、自社ブランド化を実現。県内企業とのコラボ企画も精力的に実施。</p> <p>(連携機関) ・(公財) 21 あおもり産業総合支援センター ・青森県知的財産支援センター ・(地独)青森県産業技術センター 外</p>  <p>不死鳥の形に加工した キャンプ用品（焚き火台）</p> <p>有限会社サンアップル醸造ジャパン（つがる市） <りんご産業及び地域振興に寄与する アップルブランデーの新規製造所開設></p> <p>弘前大学が実用化した白神酵母を用いたアップルブランデーの製造技術を確立。見学や試飲が可能なブランデー専門の製造所を県内初開設。</p> <p>(連携機関) ・(地独) 青森県産業技術センター ・国立大学法人 弘前大学</p>  <p>アップルブランデー</p>

(参考) 受賞者の概要

●イノベーション優秀賞 (1点)

取組の成果(優れた技術・製品・サービス)が本県の新産業・新事業創出や地域活性化に貢献しているものと認められるもの。

有限会社カワサキ機工

(推薦機関: (株)八戸インテリジェントプラザ)

青森県産業技術センター 八戸工業研究所等との連携により、棒状金属の多種多様な曲げ加工を可能とする加工機械を開発した。従来製品では難しかったフルフラット(平面上)での作業環境を構築し、小型の加工機械製品化を実現。多品種少量生産が求められる加工業者のニーズを満たしている本製品は、全国各地から引き合いが来ており、今後の売上も順調に推移することが見込まれる。



●イノベーション特別賞 (2点)

取組の成果(優れた技術・製品・サービス)が本県の新産業・新事業創出や地域活性化に今後、期待されるもの。

株式会社サンライズエンジニアリング

(推薦機関: 公益財団法人 21 あおもり産業総合支援センター)

コロナの影響で自動車販売台数が下降し、本業のプレス金型加工の売上が減少する中、ニーズが膨らむキャンプ市場に着目し、青森県産業技術センター工業総合研究所との連携等により、自社の高い板金技術を活かした製品を開発するとともに、自社ブランド「Phoenixrise(フェニックスライズ)」を立ち上げた。海外製が多かった製品市場の中で、細かなニーズを取り込んだ当社製品は徐々に人気が出ているほか、県内企業とのコラボも精力的に実施中で、今後の展開も期待できる。



有限会社サンアップル醸造ジャパン

(推薦機関: 地方独立行政法人 青森県産業技術センター 弘前工業研究所)

弘前大学が実用化に成功した白神酵母を用いて、青森県産業技術センター 弘前工業研究所の支援により、アップルブランデーの製造技術を確立した。また、県内初となるブランデー専門の製造所を開設し、蒸留設備の見学や試飲など体験型の施設とすることで、地域の観光振興にも寄与している。今後、県外販売や品評会等への積極的な出品、りんごを原料とした様々な酒類の開発を計画している。

